

科目名	特殊講義（観光発展史B）	科目コード	1601	単位数	2
担当者名	郭 倩	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

近代社会の発展とともに変化する観光のありようを、その歴史的発展の諸条件を概観し、「観光」という人間活動の各時代における特徴と変容を理解した上、マス・ツーリズムの歴史的意義について学び、これからの新しい観光の在り方を展望する。

● 到達目標

1. 帝国主義と植民地時代の観光形態を理解する。
2. 戦後世界の経済成長とマス・ツーリズムの発展経緯を把握する。
3. グローバリズムの展開と新しい観光の在り方に対する理解を深める。

● 授業内容

- 1週目 オリエンテーション（授業の進め方・観光発展史研究の意義と現状）
- 2週目 帝国主義と植民地時代の観光
- 3週目 世界市場の拡大とアメリカの台頭
- 4週目 両大戦間期におけるツーリズム
- 5週目 新しい観光客体としての植民地
- 6週目 戦後世界の再編と国際観光の展開
- 7週目 労働者階級のツーリズム参加
- 8週目 マス・ツーリズムの時代の到来
- 9週目 戦後における欧米先進国の観光政策（フランス）
- 10週目 戦後における欧米先進国の観光政策（アメリカ）
- 11週目 グローバリズム時代の観光（欧米先進国における観光形態の変容）
- 12週目 グローバリズム時代の観光（民間航空の秩序と航空観光の進展）
- 13週目 アジア太平洋地域の成長と人的交流の隆盛
- 14週目 第四次観光革命としての東アジア観光
- 15週目 新しい観光の在り方の課題と模索
- 16週目 期末試験+全体まとめ。ただし、やむを得ず15週目までの講義が実行できなかった場合に補講授業を実施。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：参考書やインターネット等の媒体から観光発展史の関連情報を収集するなどの事前準備を行う（60分程度）。
 復習：配布資料に基づき講義内容を整理し、復習する（60分程度）。

● 成績評価の方法・基準

授業時に実施する小レポート・講義中の発言/グループディスカッションなど 40%
 期末テスト 60%

● 履修上の留意点

遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。
 講義内容は一貫性があるため、観光発展史Aを履修することが望ましい。

● 課題に対するフィードバックの方法

授業中の質問・課題に対するフィードバックは適宜コメントを行う。
 小レポート、期末試験に対する評価・フィードバックは次回講義において時間を設けて行う。

● テキスト

特になし。レジュメ・配布資料を用いる。

● 参考書

ジョン・アーリ著、加太宏邦訳『観光のまなざし 現代社会におけるレジャーと旅行』法政大学出版局、3,300円

● 更新日付

2022/04/12 10:42